

外国人相談業務(予算額 43,259千円)

社会文化部国際課
国際係(23 - 6656)

財源内訳	国庫支出金 10,000千円、諸収入 105千円、一般財源 33,154千円
支出内訳	2款2項4目 市民相談費 / 会計年度任用職員報酬(ロングパート) 25,469千円、会計年度任用職員報酬(ショートパート) 6,071千円、会計年度任用職員手当(ロングパート) 3,517千円、会計年度任用職員手当(ショートパート) 713千円、会計年度任用職員共済費(ロングパート) 4,969千円、会計年度任用職員共済費(ショートパート) 1,198千円、費用弁償 889千円、特別旅費 10千円、通訳サービス使用料 423千円

外国語担当によるサービス



行政相談

- 内容：住民異動届、市民税の納付などに関する通訳支援
- 場所：市役所（国際課）
- 言語：ポルトガル語、英語、中国語、フィリピン語

生活相談

- 内容：道案内やサービス情報等の生活一般に関する相談
- 場所：りぶら（りぶら国際交流センター）
- 言語：英語、中国語、フィリピン語、スペイン語

翻訳

- 内容：市役所内の各部署で作成される行政文書の翻訳
- 言語：ポルトガル語、英語、中国語、フィリピン語、



スペイン語

タブレット端末による通訳サービス

タブレット端末を用いた多言語サービス（13 言語）

- 内容：市役所窓口でタブレット端末内の通訳者、外国人市民、職員との3者通訳
- 言語：ポルトガル語、英語、中国語、フィリピン語、スペイン語、韓国・朝鮮語、タイ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、ヒンディー語、ロシア語、フランス語



オペレーターから
コールバックが入ります。
そのままお待ちください



画面上のオペレーターが
対応いたします。

拡充	男女共同参画推進業務 〔予算額 956千円〕	社会文化部男女共同参画課 女性活躍推進係(23 - 6222)
財源内訳	一般財源 956千円	
支出内訳	2款2項3目 男女共同参画費 / 講師等報償金 81千円、費用弁償 14千円、普通旅費 17千円、特別旅費 24千円、消耗品費 123千円、食糧費 1千円、印刷製本費 274千円、性的マイノリティ電話相談委託料 418千円、研修会等負担金 4千円	

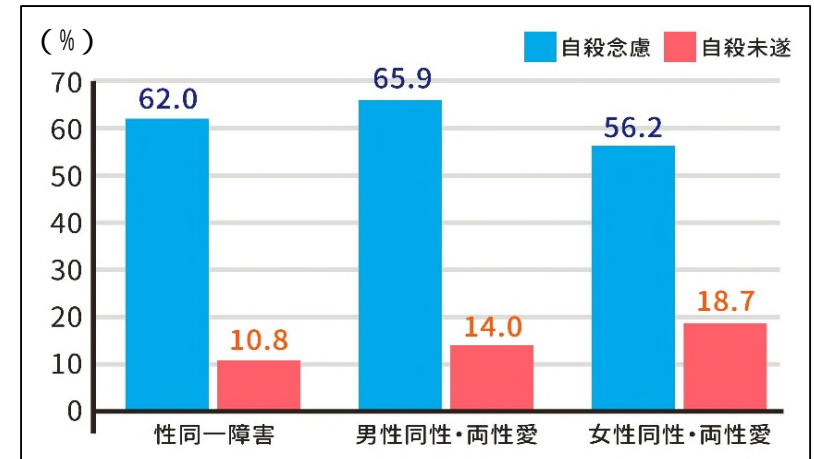
【事業概要】

男女共同参画社会基本法に定めた男女共同参画社会の実現のため、研修や情報誌の発行等、各種啓発事業を実施します。

新規 性的マイノリティ電話相談を実施します。

調査によって異なりますが、性的マイノリティ(1)の人口はおおよそ8%を示しています(2016 連合調査)。性的マイノリティは、自らのアイデンティティや生活面・人間関係のことなど、それぞれのライフステージごとに様々な悩みがあったり、周囲の差別や偏見により生きづらさを抱えていたりします。そのような性的マイノリティに対する支援を行っていくことが必要です。

1 レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(性同一性障がいなど心と身体の性が一致しない人)の頭文字をとったLGBTなど性的少数者のこと。



▲自殺念慮(自殺を考えたこと)と自殺未遂

出典: 針間克己、石丸径一郎「性同一性障害と自殺」『精神科治療学』25(2)(2010); 日高庸晴ほか『Reach Online2005 調査結果報告』; 性意識調査グループ『310人の性意識—異性愛者ではない女たちのアンケート調査』(1998)

性的マイノリティ電話相談を設け、当事者のメンタルケア及び性的マイノリティが抱える問題の把握等、情報収集を行います。

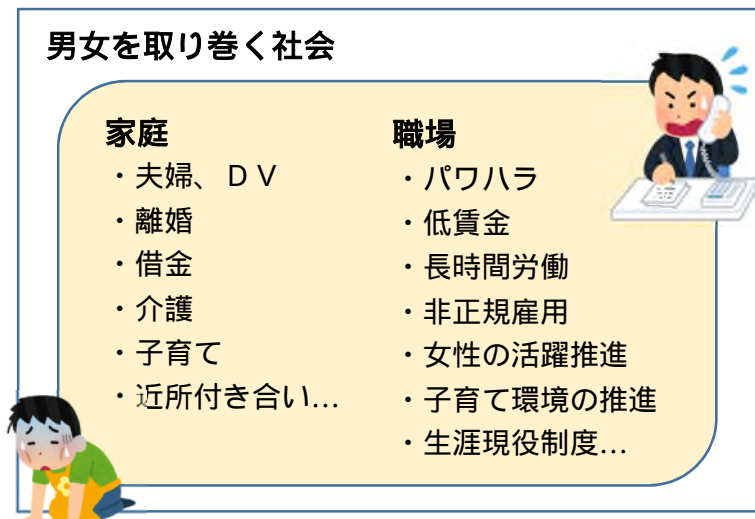
- ・ 令和2年7月開始予定
- ・ 実施頻度は月1回で、1日のうち3～4時間程度
- ・ 電話回線は1回線を用意し、委託先の相談員が対応



拡充	D V・女性相談業務(予算額 21,165千円)	こども部家庭児童課 家庭・女性相談係(23 - 6776)
財源内訳	国庫支出金 5,521千円、諸収入 45千円、一般財源 15,599千円	
支出内訳	2款2項3目 男女共同参画費 / 会計年度任用職員報酬(ロソグバート) 12,842千円、会計年度任用職員手当(ロソグバート) 1,779千円、 会計年度任用職員共済費(ロソグバート) 2,530千円、講師等報償金 153千円、費用弁償 491千円、普通旅費 7千円、特別旅費 56千円、消耗品費 65千円、 食糧費 1千円、印刷製本費 108千円、洗濯料 9千円、サポートグループ開催委託料 297千円、法律相談委託料 1,056千円、 スーパービジョン実施委託料 951千円、男性相談委託料 713千円、宿泊施設使用料 66千円、職員研修負担金 3千円、緊急援助費 8千円、 継続契約集合支払特別会計繰出金 30千円	

新たな取組

家庭や職場など、男女を取り巻く社会が変わり多様化する生き方の中で、
既に開設済みの女性相談に加えて、男性相談を開設します。



男性だって生きづらい
弱音を吐きたい

男性相談 10月から

「男らしさ」を外すきっかけを提供し、話すことで
気持ちを整理し、相談者が自ら問題を解決できるよう支援します。

開設内容

- ・相談の種類は、電話相談のみ
 - ・週1回
17時から20時まで
仕事終わりで、電話しやすい時間に開設
 - ・相談員は男性で、臨床心理士などの有資格者
 - ・男性のD Vに関する相談も受けます
- 

男性は、「弱みを知られたくない」「弱音を吐いてはいけない」など、
「男らしい」と言われる役割を演じることで、悩みを抱え込む傾向があります。

拡充	生活安心推進業務 (予算額 23,887千円)	市民生活部安全安心課 生活安心係(23 - 6525)
財源内訳	繰入金 1,000千円、諸収入 8千円、一般財源 22,879千円	
支出内訳	2款2項2目 安全安心推進費 / 会計年度任用職員報酬(ロングパート) 2,338千円、会計年度任用職員手当(ロングパート) 330千円、会計年度任用職員共済費(ロングパート) 461千円、事業協力者報償金 65千円、防犯意識啓発賞賜金 31千円、費用弁償 82千円、特別旅費 42千円、消耗品費 5,754千円、通信運搬費 239千円、揮毫手数料 11千円、看板製作委託料 413千円、防犯意識啓発キャンペーン委託料 472千円、機器保守点検委託料 484千円、機器移設委託料 75千円、夜間犯罪防止パトロール実施委託料 3,248千円、講演会開催委託料 53千円、会場使用料 176千円、情報通信使用料 4千円、機器賃借料 9,365千円、電柱共架料 59千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 185千円	

これまでの取組み

学区に対して防犯カメラ
の設置補助金を交付



新たな取組

市が直接、街頭防犯カメラを
設置します(予算額 9,365 千円)



警察や関係機関等と連携し、効果的な場所へ市が計画的に配置することにより、犯罪抑止を図ります

■ 街頭防犯カメラ設置計画

- ・設置場所は、駅周辺、主要交差点、犯罪多発地域、通学路など
- ・まずは1,000台を目標に設置予定

■ 令和2年度予算概要

令和2年12月末までに防犯カメラ450台の設置完了を計画しており、令和3年1月から3月までの3か月分の防犯カメラの賃借料を計上(9,365千円)

事業を推進するため、広く寄附を募っています。
安全安心なまちづくりのため、皆様の御協力をお願いいたします。



新規	特殊詐欺対策装置購入補助業務 (予算額 3,500千円)	市民生活部安全安心課 生活安心係(23 - 6525)
財源内訳	一般財源 3,500千円	
支出内訳	2款2項2目 安全安心推進費 / 特殊詐欺対策装置購入費補助金 3,500千円	

特殊詐欺対策装置による被害防止対策を推進します

■ 概要

令和元年中の岡崎警察署管内の特殊詐欺被害は減少傾向にあるが手口は悪質かつ巧妙化している。このような手口のほとんどは高齢者が被害にあっており、通話録音装置等の対策機器を設置することは、犯人との接触を防止できるなど被害防止に有効となっている。このため、高齢者に対し通話録音装置等の購入費を補助し、機器の設置を促進することで特殊詐欺被害の未然防止を図る。

■ 対象者

- 市内に住所を有する
- 65 歳以上でひとり暮らしの者
 - 65 歳以上の高齢者のみで構成される世帯の構成員
 - 上記以外の者であって、日中に住居に 65 歳以上の高齢者のみとなることが常態である世帯の構成員

■ 対象機器

次の機能を有する機器（メーカー、機種は限定しない）

● 通話録音装置

固定電話に取付け、通話内容を録音する装置で、電話着信時に通話内容を録音することを自動で相手に伝える機能を有する機器

● 着信拒否装置

固定電話に取付け、管理サーバーに登録された迷惑電話を発信する電話番号からの着信を自動で判別し、点灯により通知する機能を有する機器

● 通話内容を録音する機能又は迷惑電話の着信を拒否する機能を内蔵する固定電話機

■ 補助内容

対象機器の購入に要する費用の 2 分の 1 上限 7,000 円

■ 予算

7,000 円 × 500 件 = 3,500,000 円



新規	高齢者安全運転支援装置設置促進事業費補助業務 (予算額 24,720 千円)	市民生活部安全安心課 交通安全係(23 - 6277)
財源内訳	県支出金 12,360千円、一般財源 12,360千円	
支出内訳	8款2項2目 交通安全推進費 / 高齢者安全運転支援装置設置促進事業費補助金 24,720千円	

ペダル踏み間違いによる交通事故の防止や被害を軽減する
後付け安全運転支援装置の普及を図ります。

●事業概要

近年、全国で高齢ドライバーのペダル踏み間違い等の運転誤操作による交通死亡事故が相次いで発生しており、高齢ドライバーを対象とした交通安全対策が急務となっているため、後付けする安全運転支援装置の設置を促進します。

【対象者】

65 歳以上の運転免許保有者

【対象装置】

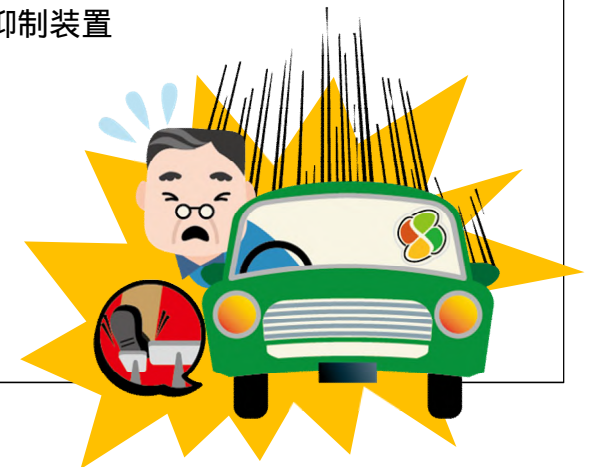
国の性能認定制度（先行個別認定を含む）で認定された後付けのペダル踏み間違い急発進等抑制装置

【補助上限額】

- ・ 障害物検知機能付 32,000 円
- ・ 障害物検知機能なし 16,000 円

【補助率】

個人支払額の 4 / 5



事故多発路線対策業務(予算額 89,251千円)

市民生活部安全安心課
施設係(23 - 6193)

財源内訳 市債 57,000千円、一般財源 32,251千円

支出内訳 8款2項3目 緊急交通安全対策費 / 登記用図面作成委託料 1,980千円、交通安全対策整備工事請負費 85,800千円、電柱等移転補償金 1,471千円

■ 業務概要

人身事故発生状況から、交通事故が多発する市道交差点の安全対策を行う。平成18年以降の人身事故発生状況から選定した事故多発交差点の内、岩津町において信号機設置に伴う交差点改良を行う。

■ 人身事故発生状況の推移

平成26年 3件

- ・地元要望により段差舗装等実施

平成27年 3件

平成28年 1件

- ・人身事故多発交差点に指定、交差点内カラー舗装実施

平成29年 3件

- ・再度地元要望によりドットライン実施

平成30年 4件

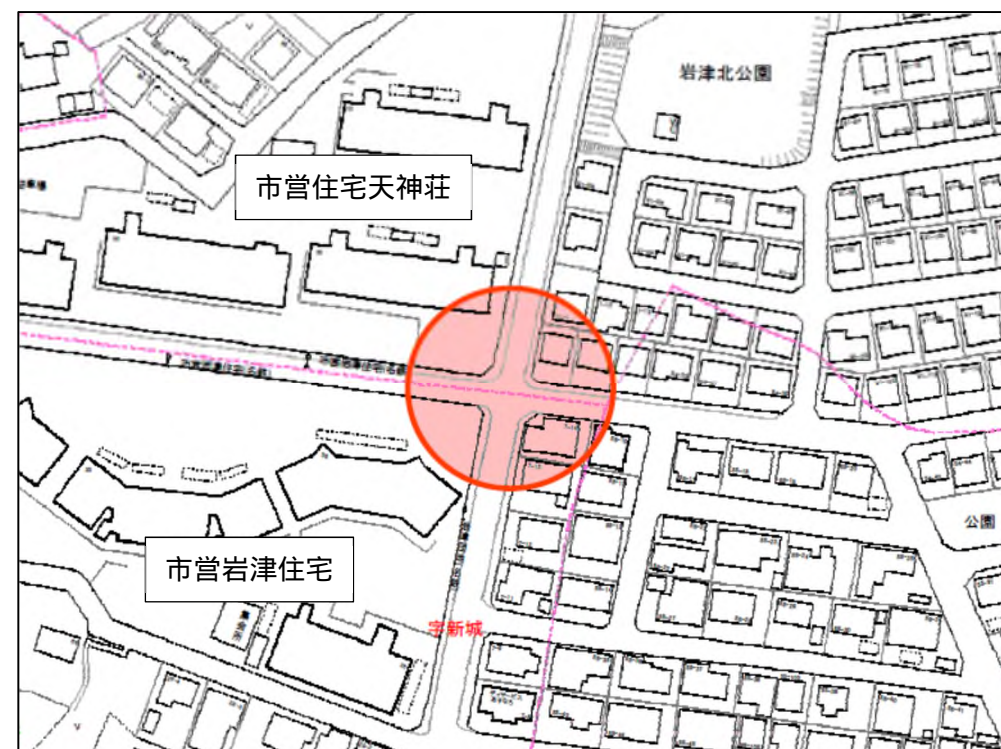
■ 交差点改良内容

- ・信号機設置に伴う南北方向の右折帯設置等、交差点改良
- ・交差点から約 80m南にある押しボタン信号機の廃止

■ スケジュール

- ・令和元年度 測量設計業務
- ・令和2年度 工事施工及び供用開始

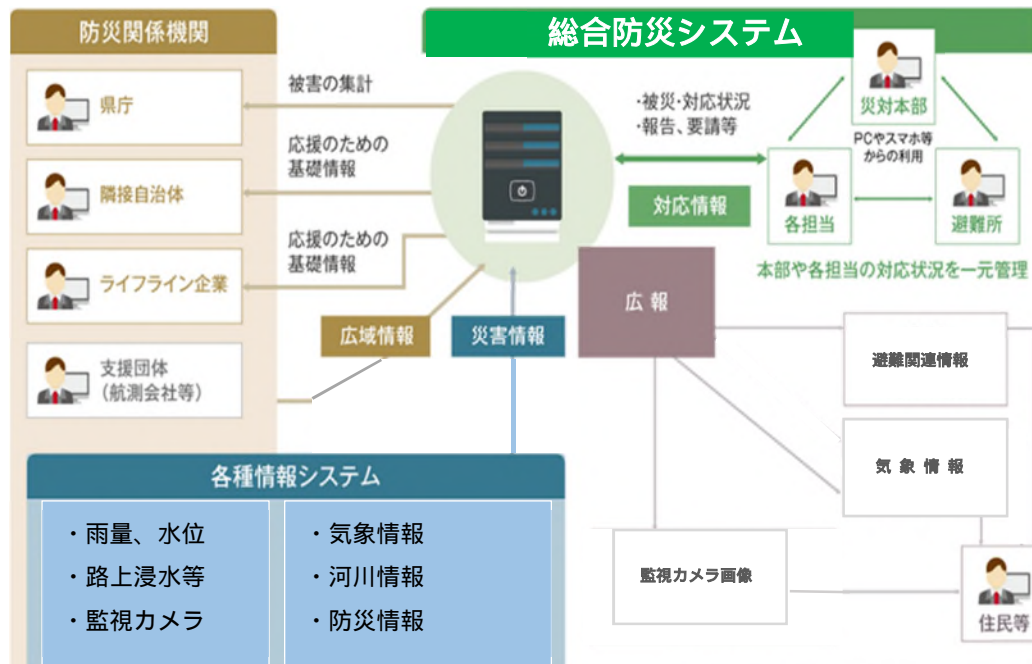
事業位置図等



災害対策本部等関連業務(予算額 46,339千円)		市民生活部防災課 防災対策係(23 - 6766)
財源内訳	一般財源 46,339千円	
支出内訳	9款1項4目 災害対策費 / 普通旅費 55千円、消耗品費 1,289千円、燃料費 12千円、食糧費 353千円、通信運搬費 262千円、防災情報システム等運用管理委託料 2,150千円、防災行政無線保守点検委託料 8,344千円、被害情報累積分析システム保守委託料 818千円、気象観測システム等保守点検委託料 3,652千円、気象観測システム等改修委託料 1,452千円、機器移設委託料 225千円、総合防災システム保守委託料 2,079千円、機器賃借料 3,685千円、土地賃借料 76千円、電柱共架料 22千円、総合防災情報システム等使用料 8,435千円、電波利用料 110千円、あいち・なごや強化共創センター負担金 200千円、防災行政無線運営協議会負担金 1,524千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 11,596千円	

《 総合防災システムの再構築 》

近年頻発する地震や風水害に対し、気象・河川・防災情報など各種システムの情報を集約し、災害時の意思決定の効率化を図るとともに、ホームページや防災メールなどによる避難関連情報の早期発信を実現するため、総合防災システム全体を更新し、システムの再構築を図ります。



河川・排水路改修事業〔予算額 399,748千円〕 ※上地新川改修業務 始め3業務合算		土木建設部河川課 北西部係(23-6614)・南東部係(23-6235)
財源内訳	市債 178,000千円、一般財源 221,748千円	
支出内訳	8款4項3目 河川新設改良費／◇上地新川改修業務:河川台帳等作成委託料 2,310千円、事業損失補償金 24,000千円 ◇河川改修業務:河川改修工事請負費 279,400千円 ◇排水路改修業務:測量設計委託料 13,233千円、排水路改修工事請負費 68,805千円、 電柱移設補償金 2,000千円、水道管移設補償金 5,000千円、ガスパ管移設補償金 5,000千円	

- 台風や集中豪雨による浸水被害を軽減し、地域の排水能力・生活環境の向上を図るため、河川や排水路等の整備を行うとともに、流域での浸透事業による雨水流出抑制を進めます。

【主な河川改修事業】

- ・奈良井貯留池耐震補強工事



自然に配慮した川づくりに努めています。

【主な排水路改修事業】

- ・牧御堂水洗、法性寺色子ほか
- ・浸透型排水路整備



総合雨水対策施設整備業務(予算額 26,625千円)

土木建設部河川課
総合雨水対策係(23-6899)

財源内訳	一般財源 26,625千円
支出内訳	8款4項3目 河川新設改良費 / 消耗品費 2,420千円、総合雨水対策施設工事請負費 24,205千円

○ 気候変動により増加する大雨に対し、市民・事業者・行政が一体となった効率的で効果的な浸水対策に取り組むための総合雨水対策事業を推進し、水害に対して安全安心なまちづくりの実現を目指します。

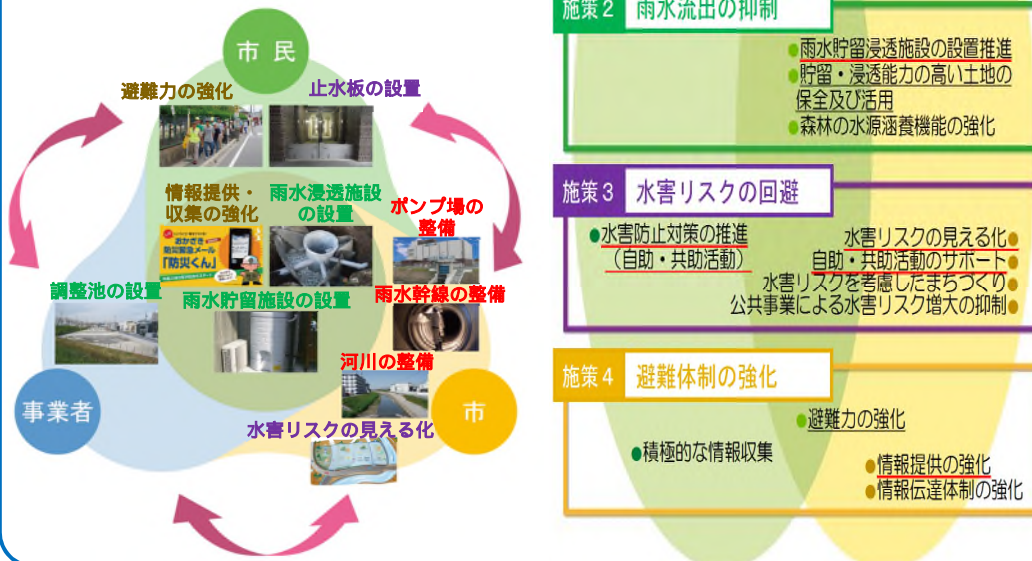
総合雨水対策計画(平成28年7月)

『大雨から“いのち”と“くらし”を守る』

～ みんなで力を合わせ、水害に負けないまちをつくる ～

30年確率降雨から“くらし”を守る

30年確率降雨(時間最大雨量70mm程度)に対して、**床上浸水被害解消**
『平成20年8月末豪雨』相当の降雨から“いのち”を守る
『平成20年8月末豪雨(時間最大雨量146.5mm)』相当の降雨に対して、
人的被害“ゼロ”



施策1 河川・下水道の整備

- 河川の整備
- 下水道の整備

施策2 雨水流出の抑制

- 雨水貯留浸透施設の設置推進
- 貯留・浸透能力の高い土地の保全及び活用
- 森林の水源涵養機能の強化

施策3 水害リスクの回避

- 水害防止対策の推進(自助・共助活動)
- 水害リスクの見える化
- 自助・共助活動のサポート
- 水害リスクを考慮したまちづくり
- 公共事業による水害リスク増大の抑制

施策4 避難体制の強化

- 積極的な情報収集
- 避難力の強化
- 情報提供の強化
- 情報伝達体制の強化

令和2年度の主な取り組み

施策2 施策3

自助・共助活動をサポートするソフト対策として、雨水浸透ます支給、止水板設置補助の継続実施。

施策3

水害リスク情報の周知啓発による、浸水被害軽減への取り組みを促進。

施策4

道路冠水による車両等の浸水被害を防止するための情報強化として、**浸水深表示施設**の設置推進。

浸水深表示施設(設置例)



拡充**狭あい道路拡幅整備費補助業務**(予算額 28,920千円)

建築部建築指導課

狭あい道路整備係(23 - 6824)

財源内訳 一般財源 28,920千円

支出内訳 8款3項2目 道路維持費 / 狭あい道路拡幅整備費補助金 27,720千円、すみ切り用地奨励金 1,200千円

安全で良好な住環境の確保及び災害に強いまちづくりに資するため、狭あい道路の拡幅整備を促進します。

【業務概要】

■ 狭あい道路拡幅整備費補助金

後退用地、すみ切り用地の寄附部分を道路とするために、支障となる物件がある場合は、撤去費等の一部を補助します。

■ すみ切り用地奨励金

すみ切り用地を寄附する場合は、面積に応じて奨励金を支給します。

すみ切り用地とは、道路交差点の角を曲がりやすくするための角地。

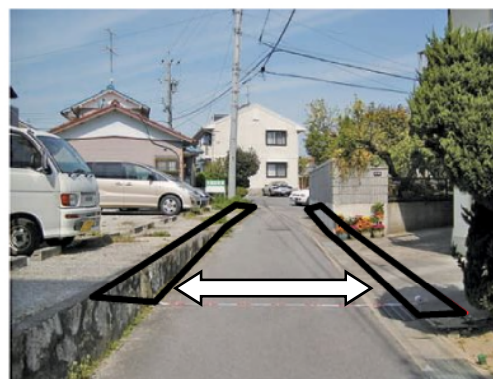
通行が困難な狭あい道路

**社会情勢や市民ニーズを反映した補助金の見直し****アスファルト舗装施工費****補助単価を UP**

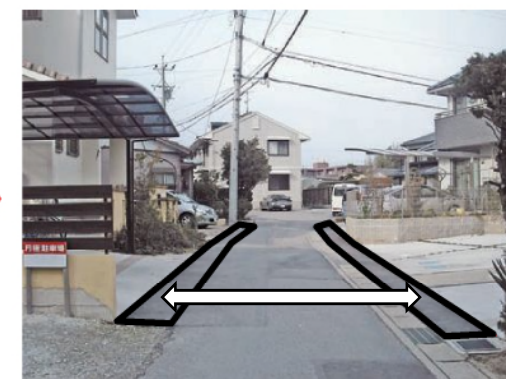
申請者自らによる舗装の施工を促し、

早期の狭あい道路拡幅を促進

補助単価は、必要に応じて3年ごとに見直します。



拡幅前



拡幅後